

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

平成27年10月1日

文部科学大臣殿

公立大学法人 福岡女子大学
学長 梶山 千里 印

下記の課程を職業実践力育成プログラムに申請します。

記

①学校名:	福岡女子 大学	②所在地:	福岡県福岡市東区香住ヶ丘1-1-1		
③課程名:	社会人学び直し大学院プログラム イノベーション創出力を持った 女性リーダー育成プログラム	④正規課程/履修 証明プログラム:	履修証明プログラム	⑤開設年月日:	平成28 5月
⑥責任者:	副学長 森田 健	⑦定員:	30	⑧期間:	1年間
⑨申請する課程 の目的・概要:	①行政・企業内で管理職・意思決定に関わる女性の育成と、②育児等でキャリアを中断している女性が社会の成長分野で活躍する復職支援を目的としたプログラムを用意し、女性リーダー(高度人材)として必要とされる能力獲得の機会を提供することを目的としたものである。 3つのモジュールから構成されている。モジュール1と2、モジュール3の共通課程は、対面授業による講義・ワークショップと対面授業前のオンライン学習、対面授業後のオンラインコミュニティでのディスカッション並びに実践ワークを組み合わせて履修する。モジュール3の各実践コースでは、少人数のチームに分かれ、課題設定、フィールドリサーチ、課題解決案の策定とプレゼンテーションを含むPBL(Project Based Learning)に取り組む。				
⑩4テーマへの 該当の有無	女性活躍	⑪履修資格:	大学卒業もしくは同等の学力を保有している		
⑫対象とする職 業の種類:	企業・団体・行政・NPOなどでリーダーとして働く女性(管理職に限らず、プロジェクトや新規事業開発のリーダー、多様な人々を巻き込む役割)				
⑬身に付けるこ とのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) デザイン思考、システム思考、ワークショップデザイン、ファシリ テーション、プロジェクトマネジメント		(得られる能力) 問題を発見し、解決に結びつける力、他者を巻き 込み方向付ける力		
⑭教育課程:	モジュール1「創造性を磨く」においてリサーチデザインの基礎を学び、実際に連携企業を調査対象としてフィールドリサーチを行い、アイデアを具現化していくことで、デザイン思考、システム思考に関する知識・スキルを身に着ける。 モジュール2「リーダーシップを発揮する」において、ファシリテーションの基礎を学び、演習を通じてワーク ショップデザイン、ファシリテーションに関する知識・スキルを身に着ける。 モジュール3「イノベーションを実践する」において、1ヶ月に1度の対面授業を中間報告としたPBL(Project Based Learning)を行い、チーム内、担当教員と連携しながら課題解決を目指すことによって、プロジェクトマ ネジメントスキルを身につける。				
⑮修了要件(修 了授業時数等):	対面授業への参加70%以上 (対面授業24時間中17時間以上) オンラインディスカッションへの参加 70%以上(オンライン学習16時間中12時間以上) レポート提出とその評価及び対面授業への出席状況、オンライン学習への参加度、成果発表会での発表と審 査によって行う。 モジュール3は、最終発表会での発表を修了必須要件とする。				
⑯修了時に付与さ れる学位・資格等:	履修証明書				
⑰総授業時数:	120 時間	⑱要件該当授 業時数:	120 該 当 要 件	⑲要件該当授業時数 /総授業時数:	100%
⑳成績評価の方法:	レポート提出とその評価及び対面授業への出席状況、オンライン学習への参加度、成果発表会での発表と審 査によって行う				

②①自己点検・評価の方法:	<ul style="list-style-type: none"> ・モジュールごとの授業評価アンケート実施(ウェブアンケートによる無記名回答) 講座全体の満足度、授業内容、教材使用状況、時間配分、相談のしやすさ、難易度、話し方の明瞭さなど全10項目。満足度80%以上を達成基準とする。 ・調査結果は、プログラム開発委員会にて報告、善後策を協議する。
②②修了者の状況に係る効果検証の方法:	<ul style="list-style-type: none"> ・派遣元企業への定期ヒアリングの実施 昇格、登用、プロジェクトへの参画等経年調査していく ・修了生の追跡調査(修了後不定期に実施) 提案プランの事業化件数、組織内でのアイデア採用件数、就業状況 ・修了生の講座への積極関与 メンターへの登用、体験談報告会への登壇を通じ修了後の状況を把握
②③企業等の意見を取り入れる仕組み:	<p>(教育課程の編成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業等を含めた教育課程の編成の検討や取り組みに関する評価を行うプログラム開発委員会を設置、モジュール終了都度の開催 ・企画協議会の開催 プログラム開発委員会での検討事項の承認 プログラム改変の実施 <p>(自己点検・評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プログラム開発委員会での授業アンケート結果の報告、善後策の協議
②④社会人の受講しやすい工夫:	隔週土曜開講(9:00~16:00)、オンライン学習によるサポート、託児サービスの実施、複数年での受講が可能
②⑤ホームページ:	(URL) http://www.fwu.ac.jp/manabi/

事務担当者名:	岸 智子	所属部署:	女性キャリア支援センター 女性学び直し支援室
連絡先:	(電話番号)092-92-3198 (E-mail)manabi1@fwu.ac.jp		

* パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。